



## INDEX

### B

#### bootflash

内部ブートフラッシュも参照

### C

#### CLI

コマンドモード 1-3

サブモードアクセス 1-3

#### configure terminal コマンド

メッセージロギング 1-46

### D

#### daemon の設定

syslog サーバ 1-49

### F

#### fabric shortest path first

FSPF を参照

#### FC ID

アドレスフォーマット 1-43

#### FSPF

ホールドタイムの範囲 1-43

### H

HA ポリシー 21-78

### I

#### ID

FC ID を参照

VSAN ID を参照

ドメイン ID を参照

#### IP アドレス

アドレスフォーマット 1-43

#### IPv6 マルチキャストグループ

構成情報 11-65

#### ipv6-address 引数

RFC 2373 で定義 11-65

### L

logging buffered コマンド 1-48

logging console コマンド 1-47

logging monitor コマンド 1-48

logging on コマンド 1-47

logging trap コマンド 1-49

logging コマンド 1-46, 1-48

logging コマンドの使用 1-46

#### LUN

アドレスフォーマット 1-43

### M

#### MAC アドレス

フォーマット 1-43

#### MAC アドレスを参照

WWN も参照

#### more system

running-config コマンド 1-46

### N

#### nWWN

アドレスフォーマット 1-43

### P

#### p WWN

アドレスフォーマット 1-43

- ping コマンド  
ネットワーク トラフィックの生成 1-46
- PortChannel  
範囲 1-43
- R
- RADIUS  
事前共有鍵の設定 20-9  
タイムアウトの設定 20-11
- S
- show logging コマンド 1-48, 1-49
- slot0  
フォーマット 1-34
- switchport  
auto-negotiate 21-66
- syslog サーバ 1-49
- T
- terminal monitor コマンド 1-48
- trap レベル 1-49
- U
- UNIX syslog サーバ 1-48, 1-49
- V
- VSAN  
VRRP サブモード 1-12, 1-13, 25-5  
アドレス フォーマット 1-43  
キャッシュ コンテンツ 22-69  
データベース サブモード 1-12, 1-13  
ループ デバイス 22-348
- VSAN ID  
FCS 登録 1-11, 1-13
- W
- WWN  
nWWN も参照  
p WWN も参照
- い
- 一時的なストレージ 1-33
- う
- ウォッチドッグ チェック 21-101
- お
- オプション  
表示 1-45
- き
- キックスタート イメージ  
完全性の確認 22-355  
ダウンロード 1-34
- け
- 検索  
show コマンド 1-21
- こ
- コマンド  
出力結果をファイルに保存 1-39
- コンソール メッセージ 1-47
- コンソール回線  
出力の制限 1-49  
端末回線 1-48
- コンパクトフラッシュ  
デバイス 1-33, 1-34
- し
- システム イメージ 1-34
- システム診断  
すべてイネーブル 1-45
- 事前共有鍵 20-9
- シミュレート  
callhome 4-4

- す**
- スイッチ プライオリティ
    - 範囲 1-43
  - ストレージ
    - 永続的および一時的 1-33
  - すべてのデバッグをイネーブル 1-45
- せ**
- 設定
    - 表示 1-46
- た**
- タイマー
    - 範囲 1-43
  - タイムアウト値
    - TOV を参照
  - 端末回線 1-48
  - 端末回線上のメッセージ ログギング 1-48
- ち**
- チェック
    - ウォッチドッグ チェックを参照
- て**
- デバッグ コマンド
    - 出力
      - 生成 1-46
      - リダイレクト 1-46
      - 例 1-46
    - 使用上の注意 1-45
    - すべてイネーブル 1-45
  - デバッグの出力
    - UNIX syslog サーバ 1-48
    - 限定 1-47
    - コマンド オプションを使用したリダイレクト 1-46
    - 使用上の注意 1-45
    - 生成 1-46
    - 端末回線対コンソール回線 1-48
    - 端末回線の限定 1-48
    - 内部バッファへの出力 1-48
    - メッセージ レベルの設定 1-47
    - デバッグの状態
      - 表示 1-45
- と**
- ドメイン ID
    - 範囲 1-43
- な**
- 内部バッファへのログギング メッセージ 1-48
  - 内部ブートフラッシュ
    - 説明 1-33
    - ブートフラッシュも参照
    - フラッシュ デバイス 1-33
- ね**
- ネットワーク オペレータ 1-42
  - ネットワーク トラフィック
    - ping コマンドで生成 1-46
    - デバッグの優先 1-45
  - ネットワーク管理者 1-42
- の**
- ノード WWN
    - nWWN を参照
- は**
- バッファ
    - 内部 1-48
- ふ**
- ファイル システム
    - 揮発性 1-36
    - フォーマット 1-34
    - リダイレクト 1-39
  - ファブリック アナライザ
    - キャプチャ範囲 1-43
    - フレーム範囲 1-43

フィルタリング  
 CLI 出力結果 1-21  
 ブートフラッシュ  
 初期化 1-34  
 説明 1-33

## ほ

ポート WWN  
 p WWN を参照  
 ホスト アドレス  
 syslog サーバの設定 1-49

## ま

マニュアル  
 その他の資料 lx

## め

メッセージ ロギング  
 trap レベルの設定 1-49  
 UNIX syslog サーバ 1-48  
 イネーブル 1-47  
 キーワードとレベル 1-47  
 コンソールへ直接出力 1-47  
 出力先の選択 1-46  
 出力の制限  
 コンソール 1-47  
 内部バッファ 1-48  
 レベルの設定 1-47  
 メッセージの logging trap レベルのセッテイ 1-49

## も

モニタ  
 ロギング メッセージ 1-48

## る

ルータ設定  
 表示 1-46

## わ

割り当て  
 グローバル鍵 20-9